

第8回「議会報告会・意見交換会」

11月10日(土)・11(日)に第8回「議会報告会・意見交換会」を議会棟において開催しました。

今回も前回同様、常任委員会ごとに今課題となっていることなどをテーマとして設定し、市民の皆さんとグループワーク形式で意見交換を行いました。各常任委員会に取りまとめたご意見などを次のとおり掲載します。

総務文教常任委員会

「小中学校の適正規模・適正配置について」



「学校統合後のインフラ整備を含めた環境づくり」、「スクールバスが安全に通れる道路の整備などを求める」との意見。

「子どもたちの地域での学び、地区民との交流が保てる仕組みづくりが必要」との意見。

「学校跡地、校舎を生かして地域性や伝統を残してほしい」との意見。

「集団になじめない子どもや不登校の子どもへの対応の充実を求める」との意見。

「学校運営が優先された統合ではダメで、子供を優先した統合にすべき」との意見。

「統合後の学校へのスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、相談員などの配置が必要」との意見などが出されました。

総務文教常任委員会

民生常任委員会

「地域医療を守り育てるために」
～市民ができること・行政ができること～

民生常任委員会

健診受診率向上に関し、「かかりつけ医から健診受診を勧められたら間違いなく受ける」との意見。

コンビニ受診に関し、「救急車で行くのと優先して診察してもらえるので使うのではないか」、「子供の平日夜間の受診などは、どう対処すればいいか判断がつかないため、優先して受診できる救急車を使うのではないか」、「24時間対応の電話相談などのシステムが必要ではないか」との意見。

新病院に望むことに関し、「総合診療科を配置して欲しい」、「建物よりも中身を充実させなければ、今までと何も変わらない」、「市立病院と市民が話し合う場、信頼関係が構築される場の設置を求めたい。例えば、各地区コミセンに市立病院から講師などを派遣して健康セミナーを開催し、両者が交流する機会がもつとあれば、市立病院に対して地区全体で信頼関係が深まるのではないか」との意見。

民生常任委員からは、「地域医療とは、患者と病院の関係だけではなくと感じた。それぞれの地域で、さまざまな活動をしている人がかわって

の『地域医療』であり、みんなでよりよい地域医療をつくらなければならない」との発言がありました。

産業建設常任委員会

《米沢の良いところ》として、「四季がある。街の中から自然が見える。夜空がきれい。食べ物おいしい。山に囲まれた地形。水路に四百年の歴史が刻まれて守られている。地域活動に興味のある大学生が多い。暖かい人が多い」などの意見が上げられました。

また、《米沢のこんなところ》が問題であるとして、「道路・歩道がガタガタ。『まち歩き』と言うが、冬期間の歩道除雪がなっていない。車社会になっている。積極性に欠ける」などの意見が出されました。

さらに、《20年後の米沢はこうなしてほしい》として、「若者がやりたいことを見つけれれる。学生が年配者と共同生活。学生が帰りたいと思える場所。暮らしたい街として有名になる。歩いて交流できる地域交流。年齢を超えて人との交流が盛んになる」などの意見が出されました。

また、《自分たちができるこ

と、やってみたいこと》として、「実家に米沢産品を買って帰る。米沢に地元の人を呼ぶ。友人と米沢の魅力について語り合う。より地域とかかわっていく。学生が参画できるきっかけづくり。市民に米沢の良さを再確認してもらう機会の提供。自分の経験を次世代に伝えていく。住環境の向上と空き家の活用。山形大学と連携した企業誘致」などの意見が出されました。

この度の議会報告会・意見交換会で市民の皆さんからいただきました貴重なご意見等につきましては、それぞれの常任委員会でも議論し、市政運営に生かしてまいります。

